

一般関係

0004

官報辨外

大正十二年  
九月二日

印刷局

朕大正十二年勅令第三百九十八號ノ施行ニ関スル  
件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
御名 御璽

攝政名

大正十二年九月二日

内閣總理大臣伯耆内田康哉  
陸軍大臣 山梨 半造

勅令第三百九十九號  
大正十二年勅令第三百九十八號ニ依リ左ノ區域ニ  
戒嚴令第九條及第十四條ノ規定ヲ適用ス但シ

同條中司令官ノ職務ハ東京衛戍司令官之ヲ行

東京市、荏原郡、豊多摩郡、北豊島郡、南足立郡、南葛飾郡

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施ス

0006

朕關東戒嚴司令部條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布  
セシム

御名 御璽

攝政 名

大正十二年九月三日

内閣總理大臣 伊藤博文 權大衛  
陸軍大臣 岡野田中義一

勅令第四百號

關東戒嚴司令部條例

第一條 關東戒嚴司令官ハ陸軍大將又ハ中將ヲ以

テ之ニ親補シ 天皇ニ直隸シ東京府及其ノ附

近ニ於ケル鎮戍警備ニ任ス

關東戒嚴司令官ハ其ノ任務達成ノ為前項

ノ區域内ニ在ル陸軍軍隊ヲ指揮ス

第二條 關東戒嚴司令官ハ軍政及人事ニ關シテ



ハ陸軍大臣ノ區處ヲ受ク

第三條 關東戒嚴司令部ニ左ノ職員ヲ置ク

參謀長

參謀

副官

主計

軍医

陸軍司法事務官

下士判任文官

第四條 參謀長ハ關東戒嚴司令官ヲ輔佐シ

事務整理ノ責ニ任ス

第五條 參謀、副官、主計、軍医及陸軍司法事務

官ハ參謀長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ事務ヲ掌

ル

第六條 下士判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務

ニ服ス  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
當分、内東京衛戍司令官ノ職務ハ之ヲ停止  
ス

0009

朕大正十二年勅令第三百九十九號中改正ノ件  
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽  
攝政 名

大正十二年九月三日

内閣總理大臣 伯爵山本權兵衛  
陸軍大臣 男爵田中義一  
海軍大臣  
財部 彪

勅令第三百九十九號

大正十二年勅令第三百九十九號中左ノ通改正ス  
東京衛隊司令官「ヲ」神奈川縣横須賀市及三  
浦郡ニ在リテハ横須賀鎮守府司令長官、其  
ノ他ノ區域ニ在リテハ関東戒嚴司令官ニ、東京  
市荏原郡豊多摩摩郡北豊島郡南足立郡南葛  
飾郡「ヲ」東京府神奈川縣ニ改ム

42

梅田、  
藤下

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
附則

0011

秘

朕關東戒嚴司令部編制ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

攝政名

大正十二年九月三日

陸軍大臣 男爵 田中 義一

軍令陸乙第九號

關東戒嚴司令部編制別表ノ通定ム

陸軍

0012

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

別表

關東戒嚴司令部編制表

備考 （一）本表ノ外主計正、主計、軍醫正、軍醫及陸軍司法事務官若干ヲ置ク又必要ニ應シ其ノ他ノ人馬ヲ増加スルコトヲ得 （二）本表及備考（一）ノ職員ハ他ニ本職アル者ヲ以テ之ニ充ツ（三）本表ノ乘馬ハ之ヲ減シ又ハ置カサルコトヲ得	計	司令官 一	大（中）將
	將校	二	馬乘
		參謀長 一	少將
		二	馬乘
	一〇	參謀 一	大佐
		一	馬乘
		副官 一	中佐
	乘馬	一	馬乘
		參謀 一	少佐
		副參官 一	馬乘
	一二	參謀 一	大尉
		副參官 一	馬乘
一		下任文官士	
六	內計手 一	六	

0013

軍務局

戒嚴司令部編制改正方針

一 戒嚴司令官ハ專ラ警備ヲ擔任シ罹災民ノ救護ニ關スル事項ハ陸軍大臣ノ管掌トス

戒嚴司令官隸下部隊ノ補給及衛生ハ同司令官之ヲ擔任ス

二 現在ノ補給部及配給部ノ人員並罹災民ノ救護ニ從事スル衛生機關ハ之ヲ戒嚴司令部ノ編制ヨリ除キ陸軍次官ヲ長トスル陸軍時局委員ヲ編成シ概テ前記ノ人員ヲ以テ之ニ充ツ

三 道路鐵道及電信等ノ應急補修ハ戒嚴司令官之ヲ擔任シ其完結後ニ於ケル復舊作業ハ陸軍大臣之ヲ區處ス此時機ニ至ルハ所要ノ部隊ハ戒嚴司令官ノ隸下ヲ脱ス

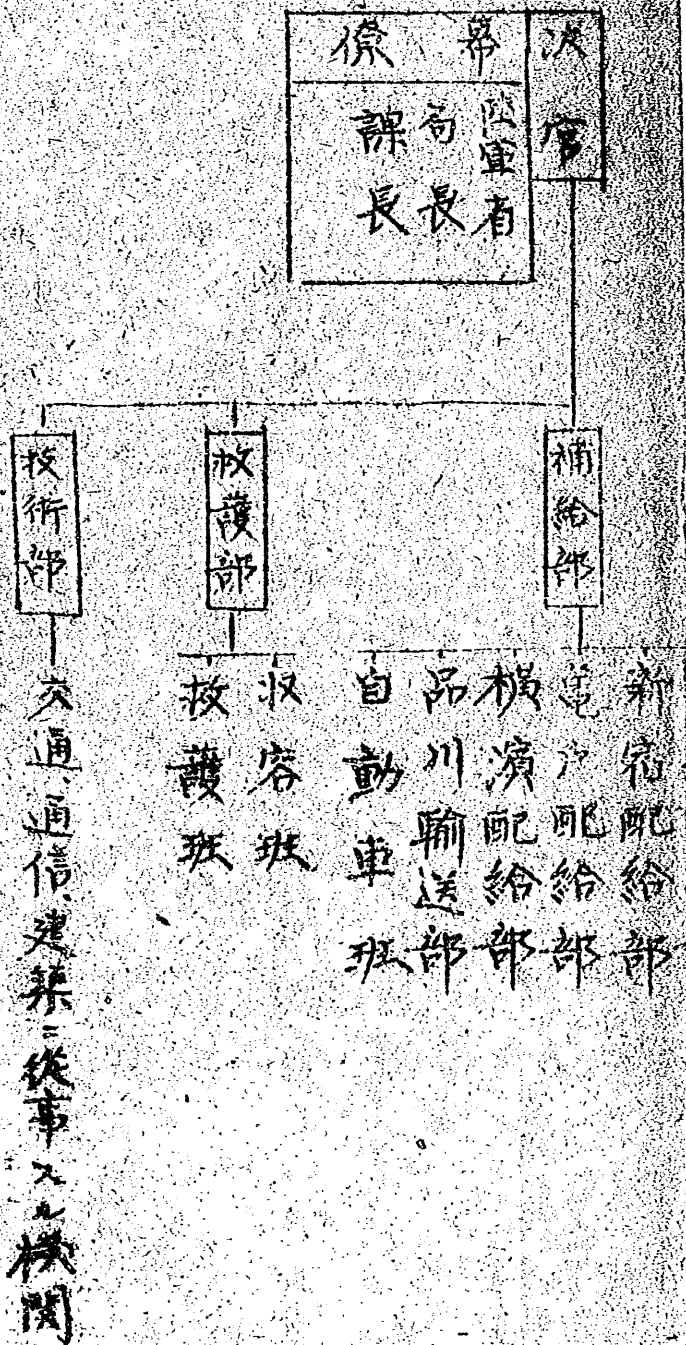
空

並浦配給司令部  
由浦配給部

0014

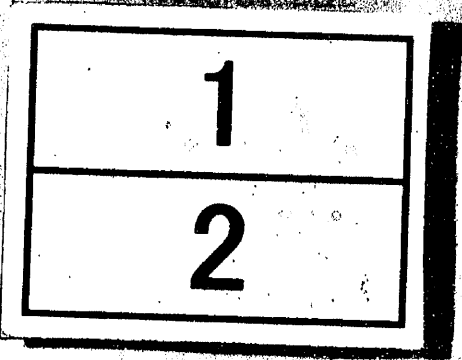
圖統系務業具安局時陣

隸屬關係ハ次官ヲ長トシ總テ正レニ直屬スル委員トス





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0016  
0017

関東戒嚴司令部職目

司令官	参謀長	警備課	情報課	補給課
陸軍大将 福田雅太郎	陸軍少将 河部信行	步兵佐武田頼三(長) 步兵佐森五六(行啓) 同 板垣征四郎(情報) 騎兵佐坂本健吉(庶務) 砲兵佐下村定(兵用) 步兵大尉井出宣時(後助) 同 田辺盛武(庶務) 同 粟飯原秀清(報) 同 伊佐一男(庶務) 砲兵大尉酒井康博(報)	步兵大佐三宅光治(長) 步兵佐古城胤秀(外) 同 荻原三郎(編輯) 同 藤井洋治(宣傳) 同 藤懸末松(蒐集) 步兵大尉天谷直史(分配) 同 下川義忠(庶務) 同 田北惟綱(報) 同 飯田泰治(編輯)	步兵佐外山豊造(長) 砲兵中佐岩田恒房(兵器) 步兵佐伊田常吉(金銃) 步兵大尉永井繁太(庶務) 工兵大尉増田猪八(紅杖) 同 輜重兵尉奥村恭平(自動車) 同 藤井孫助(砲臺) 同 藤井孫助(砲臺) 步兵中尉山田與吉(夜用) 一等主計正松野(義務) 一等主計八木光三(倉庫) 二等主計泉精一(物品)
		歩兵曹長細見壽夫 同 及川秀行 騎兵曹長村上之進 歩兵曹馬見塚藏 陸軍属 森三郎	陸軍属 大越茂八郎 雇員 岸本武義 同 中村周郎 同 高柳勉治 同 長谷川峯房 筆生 森川康郎	砲兵曹長小川辰三郎 一等主計長菅井豊吉 歩兵曹長吉本権八 砲兵曹長十時誠一 輜重兵佐長小寺孫作 一等主計原田正輝 陸軍属 菅田泰藏 同 天谷金太郎 同 川村長治

備考

本表ノ外 外務省ヨリ連絡ノ爲 守島外務事務官及タイピスト一名常續派遣セラレリ

# 部職員表

大正十二年九月十四日調製

課	部	副官部	部	附	人員計
<p>補給課                  区 歩兵佐外山豊造(長)                  区 砲兵中佐岩田恒房(兵務)                  魁 歩兵少佐伊田常即(金殿)                  傳 歩兵大尉永井繁太(庶務)                  係 工兵大尉増田猪八(工務)                  配 輜重兵尉奥村泰平(自働車)                  同 藤井孫助(砲兵)                  同 歩兵中尉山田與吉(自働車)                  同 一等主計松野(義務)                  同 一等主計八木光三(倉庫)                  同 一等主計泉精(物品)</p>	<p>交通課                  工兵大佐岩越恒一(長)                  歩兵少佐安井榮三郎(通信)                  同 歩兵大尉福島和吉郎(交通)                  同 佐伯大郎(交通)                  同 井上芳佐(通信)                  同 工兵大尉大津和郎(通信)</p>	<p>航空課                  歩兵中佐安達堅造(長)                  歩兵大尉今次捨次郎(機務)                  同 柴田信(情報)</p>	<p>部                  歩兵中佐中井武三(高懸)                  歩兵大尉徳永乾堂(專應)                  同 竹下幾太郎(金庫)                  同 騎兵大尉猪木近太(庶務)                  同 輜重兵尉守屋真管(自働車)                  同 一等主計木村陽太郎(繕寫)                  同 野村登喜江(GD)                  同 砲兵大尉内山英太郎(自働車)                  同 村岡豊(千巻)                  同 寶藏寺(雄) (ID)                  同 工兵大尉林部與吉                  同 歩兵大尉土橋勇造(自働車)                  同 原(昇格)                  同 平岡開造(自働車)                  歩兵中尉栢垣弘毅(廢次)                  同 関野重次郎(自働車)</p>	<p>附                  歩兵大尉七田一郎                  儀我誠也(守邊)                  福田稔夫(露次)                  本郷義夫 (ID)                  島本正一 (ID)                  飯野賢十 (GD)                  野村登喜江 (GD)                  内山英太郎 (自働車)                  村岡豊 (千巻)                  寶藏寺 (雄) (ID)                  林部與吉                  土橋勇造 (自働車)                  原 (昇格)                  平岡開造 (自働車)                  栢垣弘毅 (廢次)                  関野重次郎 (自働車)</p>	<p>人員計                  七〇                  亦其                  將校同相当官                  高等文官</p>
<p>砲兵曹長小川辰三郎                  一等主計菅井豊吉                  歩兵曹長吉本権八                  砲兵曹長十時誠一                  輜重兵曹長小寺孫作                  一等主計原田正輝                  陸軍属 齋藤泰藏                  同 天谷金太郎                  同 川村長治</p>	<p>歩兵曹長有田一郎                  員 貝渡辺経一郎                  員 三橋康豊</p>	<p>歩兵曹長河野肇造                  員 貝三橋康豊</p>	<p>歩兵曹長去田秀雄                  騎兵曹長富永静吾                  輜重兵曹長吉田信吉                  上等主計尾高莊                  一等主計小針定與                  陸軍属 二本正之進                  同 鈴木孝太郎</p>	<p>准士官以下                  三一</p>	<p>頌派遣セラレアリ</p>

軍隊區分

東京北部警備部隊

司令官 森岡中將

近衛師團

師團司令部

近衛歩兵第一旅團

騎兵第一旅團（近衛騎兵聯隊、一中隊欠）

近衛野砲兵聯隊

野戰重砲兵第四旅團

近衛工兵大隊

近衛輜重兵大隊

歩兵第六十六聯隊

歩兵第二十六旅團

旅團司令部

歩兵第五十聯隊（一大隊欠）

歩兵第五十八聯隊（一大隊

歩兵第三十聯隊

工兵第二大隊

工兵第八大隊（一中隊欠）

第二師團衛生隊

第三師團救護班

第十三師團救護班全部

東京南部警備部隊

司令官 石光中將

第一師團

師團司令部

第九師團救護班  
第十四師團衛生隊

神奈川方面警備部隊

司令官 奥平少將

歩兵第二旅團（第三聯隊欠）

騎兵第十五聯隊（一中隊欠）

工兵第十四大隊

藤澤方面警備部隊

司令官 柴山少將

歩兵第一旅團（第一聯隊欠）

騎兵第十五聯隊（一中隊）

0019

歩兵第三聯隊

騎兵第一旅團（第十五聯隊欠）

野砲兵第一聯隊

野戰重砲兵第三旅團

工兵第一六隊

輜重兵第一大隊

歩兵第二十八旅團（第六十六聯隊欠）

歩兵第三旅團（第六十五聯隊ノ一大隊欠）

騎兵學校教導隊

歩兵第六旅團ノ二聯隊

野戰砲兵學校教導聯隊

歩兵第三十三聯隊ノ一大隊

工兵第十三大隊

第八師團衛生隊

工兵第十六大隊  
第十六師團通信班

小田原方面警備部隊  
司令官 木下少將

歩兵第二十九旅團派遣部隊  
野戰重砲兵第一旅團派遣部隊  
工兵第十五大隊  
第十五師團救護班

中山道方面警備部隊

司令官 林少將

歩兵第六旅團 (一聯隊欠)

近衛騎兵聯隊、一中隊

市川及船橋方面警備部隊  
千葉方面警備部隊  
佐倉方面警備部隊

別命ル迄該方面残留軍隊

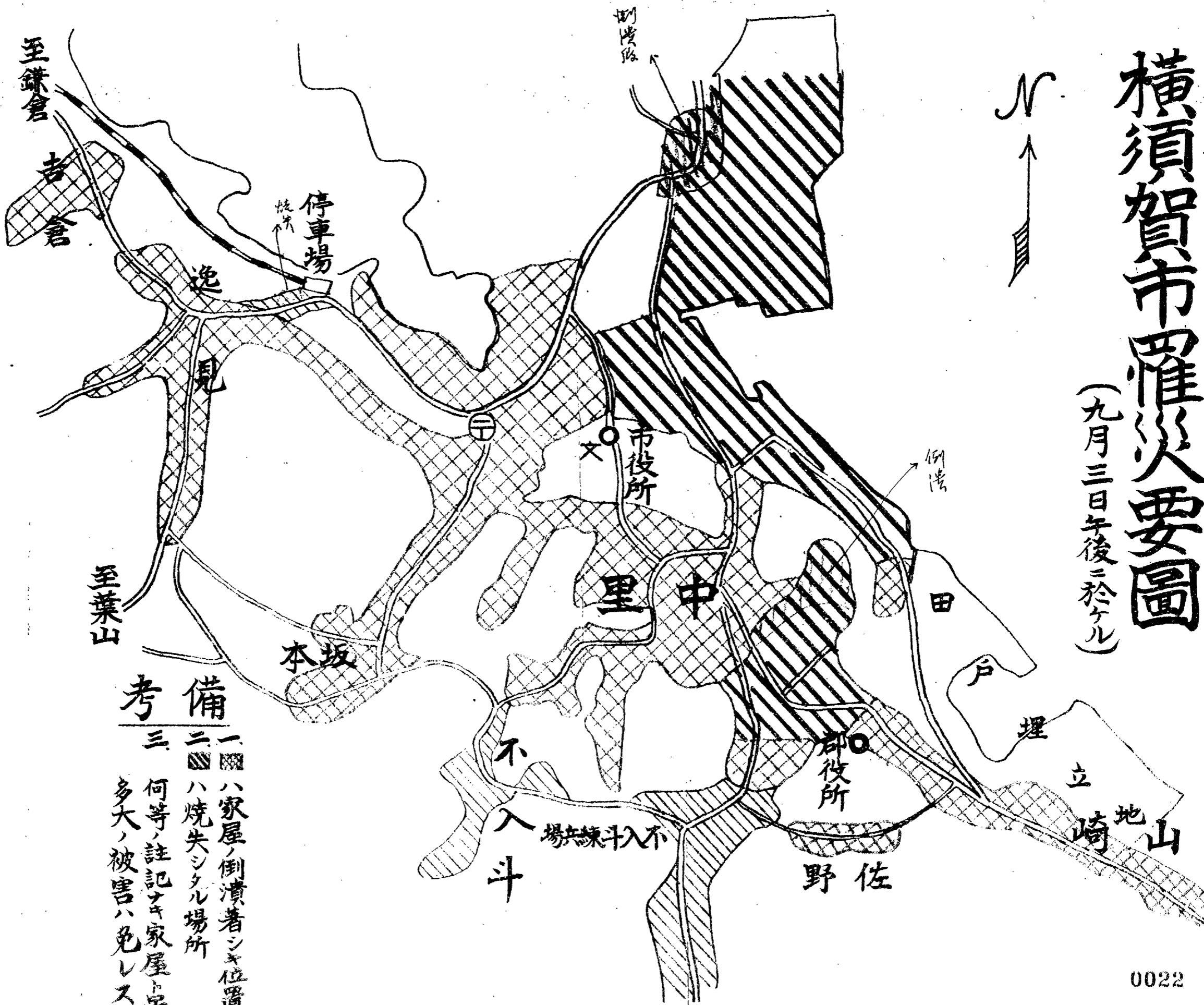
直轄部隊

爾餘、諸隊

行方印

# 横須賀市罹災要圖

(九月三日午後三於ケル)



## 備考

- 一 八家屋ノ倒潰著シキ位置
- 二 焼失シタル場所
- 三 何等ノ註記ナキ家屋トモ多大ノ被害ハ免レス

関東戒嚴司令部

0022



五

九月四日ノ情況

一 警備ノ概況

各警備隊ハ前日來益々守備ノ徹底ニ努メ今  
ヤ戒嚴施行區域内ノ要吳ハ概テ軍隊ヲ以テ被掩  
スルコトヲ得民心漸ク安堵ノ域ニ達シツツアリ  
神奈川縣方面モ本自奥平少將ノ指揮セル歩騎  
兵各一聯隊ノ到著ニ依リ不安ノ状態ヨリ救出  
スルヲ得タリ

藤澤鎌倉ニハ近ク在甲府歩兵聯隊ヲ配置スル等  
ナルモ本日取敢ス東京ヨリ騎兵部隊ヲ急行セシメタリ  
士官學校生徒隊整備ニ参加ス

仙臺、弘前、金澤、高田、豊橋、名古屋、京都方面ヨ

0023

リモ夫々部隊ヲ招致中ニシテ其先頭ハ本日既ニ  
東京ニ到着シツツアリ

其他軍隊ノ配置ハ本<sup>前</sup>日ト大差ナシ

## ニ救護救恤

東京ニ於テ編成セル特別救護班十個ハ本四日東  
京市内ニ於テ業務ヲ開始シ又宇都宮ヨリ到着セル  
糧食(ビスケット七千二百貫、干六百貫、罐詰肉)ハ直ニ市  
民ニ分配セリ明後六日ニハ更ニ大阪ヨリビスケット十  
万貫到着スル筈尚滿洲方面ヨリモ糧秣ヲ取寄セツアリ  
三地方自警團ノ行動、個人ノ武器使用、取締ニ関スル  
命令ヲ發シ又自今通行人ノ檢問ハ軍隊、憲兵、  
警察官之ヲ實施スルコトトセリ

九月五日朝ノ状況

一 仙台師團ヨリ派遣セラルル工兵隊及衛生隊  
関ハ昨夜田端駅ニ到着シ本五日ヨリ教習備  
及救護ノ部署ニ就クハク又同師團ノ歩兵二  
聯隊モ本日申ニ到着シ得ル見込

二 總武鉄道沿線ノ地方ハ糧食ノ不足鮮人  
行動ノ過大ナル風説ニ依リ多少ノ騷擾ヲ  
見又埼玉縣南部ハ主トシテ住民ノ鮮人ニ  
対スル不安ノ感情ニ基因シテ鮮人迫害等ノ  
事故アリ該両地方ニハ本五日軍隊ヲ配置スル  
豫定(詳細奥報)

0025

警備



戒嚴司令官宛

報告

九月五日午後九時於近衛師團司令部

北警備區司令官 近衛師團長

一 警備ニ就テ

逐次新部隊ノ増加ニ伴ヒ明日ヨリ別紙要圖

警務局

ノ如ク配備ヲ變更ス

二 治安維持ニ就テ

軍需局

各警備管區共ニ引續キ人心安定ニシツソアルモ

尚ホ不逞鮮人主義者ト一般市民若クハ軍隊ト争

經理局

關共跡ノ断々サレタ遺憶トス昨夜來マニ關スル

二三ノ出来事ノ舉ニシテ左ノ如ク

0026

九月四日午後八時、龜戸附近に於て四名の壯漢  
先着ヲ以テ警官ニ抵抗シタルヲ以テ騎兵第  
十三聯隊ノ應援隊ハ即時抵抗シタル暴漢ヲ  
刺殺セリ内鮮人ノ區別目下調査中

九月五日午前二時三十分、龜戸警察署旗東中  
ノ先着ナル内地人主義者及不逞鮮人六名ハ警  
察官ノ命ヲ奉セテ暴行スルノミナラス他ノ拘禁  
者ノ煽動ノ暴動ヲ爲サントシ到底秩序ヲ維持  
困難ナル旨同署長ノ急報ヲ受ケ其極惡ニ依  
リ同聯隊ハ全部ヲ刺殺セリ主義者ハ最後迄草  
命高揚ヲ高唱セリ

第二師團經理部長白土哲郎氏ハ本五日兩國附近



ニ於テ暴漢ヨリ頭部及眼下ヲ先器ヲ以テ斬  
ラレ西國救護班ニ收容カレタル後目下第一衛戍  
病院ニ入院中經過險惡ナリトイフ同人ヲ連レ東ニル警  
部補ノ言ニ依リテ不逞鮮人君クハ主義者ト誤解サレタ  
ル結果ナリトイフ

巢鴨附近ニ於テ他ノ一主計自警團ト衝突シ毆打サレ  
タルヲ以テ該方面ノ中隊長ヲ以テ暴漢ヲ捕ヘ取調中ナ  
リ  
以テ如ク若干ノ行違ヒアリタルモ先器ノ攜帶ヲ禁シ  
私刑ヲ戒シ極力在郷軍人青年同等ノ自衛行為ニ其  
權限以テ超越セシムルノ様指導中ナルヲ以テ此傾向ハ  
近ク絶滅スルモノト信ス

各救護班ハ今尚負傷者ヲ收容救護シツタリ  
市内ノ整備ニ従ヒテ近親ヨリテ救護所ヨリ他ニ運搬セ  
ル者サカラサレトモ重傷者ノ救ハ依然多救ナリ目下之  
ニ對シ適當ナル建築物ナキヲ以テ師団ハ國枝館ヲ爲シ  
得ル限リ半永久的ニ設備シ他ノ收容ルタル傷者ヲ逐次談  
所ニ收容スル計畫ナリ

四 給養ニ就テ

戒嚴司令部ヨリ受領シタル糧秣ハ前報告ノ計畫ニ基キ  
概シテ故障ナク實施セラレタリ

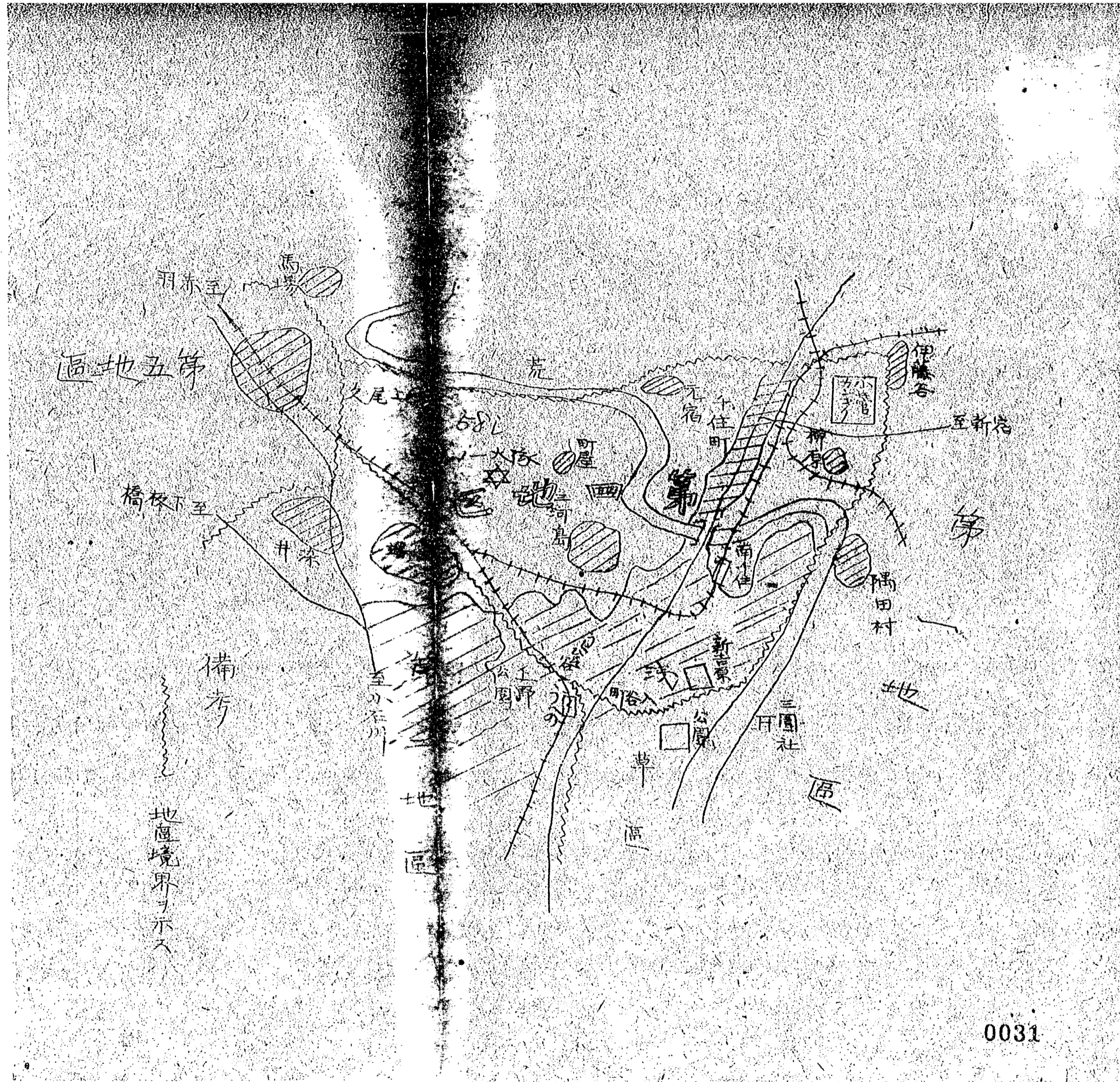
五 將來ノ意見

各地區ト師団司令部トノ連絡指導若クハ材料ノ分配  
ノ爲メ師団司令部ニ兼用自動車二荷物自動車五

(司令部) 各步兵聯隊各一)ヲ増加支給せし度  
之衛生上ノ見地ヨリ出勤部隊ニ可成甘味品等ヲ多量ニ  
加給シ激動孟ニ傳染病流行ニ対シ抵抗ヲ持續シ得ル如  
ク上司ニ於テ計画せし度

0030





五等地區

備考

地境界ヲ示ス

0031

52

九月五日於第一師團司令部

南警備區司令部第一師團長

或豆取司令官宛

報告

一 警備地区内一般ノ情况

各部隊ノ努力ニ基キ各種流言ノ虐待ニシテ為

メニセシトスルモノノ宣傳ニ過ギカルヲ了解スルト共

ニ逐次静穏ニ歸シ鮮人ニ対スル壓迫モ暫時緩

和セラレシツアリ然レトモ局部的ニハ社會主義者ノ

宣傳鮮人ト認ムヘキモノノ不逞行動ニ基キ依然

恐怖ハヨリ離脱レ得カリモノアリ例ハ昨四日夜

深川公園附近ニ於テ鮮人労働者カ婦女子ヲ

辱メントシタルノ噂ニ基キ住民ノ憤慨甚レカリ

0032



シカドキ又同夜在俣カ因所傳車場附近ニテ  
塵箱ニ放火シタルモノアルヲ認メ同夜巡察力午  
前一時頃森林製鐵所附近ニ放火セルヲ認メ辛  
ク消火レ得タルカ如キ不逞行刺ニ基キ人心不安  
定ヲ得タルカ如キ之レナリ  
其ノ間ニ屬シ社會主義者ノ活動ニアルハ確證アリ  
ルモノ、如シ昨三月夜「午後十一時強襲アリ」芝公園  
内ニ柳留セラレシ鮮人二十餘名逃走シ、麻布区内  
ニ侵入セリ等ノ宣傳カ北條龍雄（赤坂區其分隊  
ニテ拘引セリ）ノ與手ニ出テタル明ナルモノナラズ同一事  
項ノ宣傳カ麻布区内ニテナラズ渋谷其ノ他ノ方面ニ亦  
行ハレタルヲ鑑ミトハ或ハ社會主義者カ許画的ニ行動  
シソソアルヲ疑ハレムモノアリ

0033

二、警備

東京西北地区警備ノ充分ナラザルニ鑑ミ步兵警備

区域ヲ高田寺、萩窪ニ軒茶屋ノ線ニ推進擴張セリ

三、市川船橋方面ノ以東地区ニ於ケル震害

震災ニ付スル被害ハ江戸川以東ノ地区ニ於テハ輕微

ニシテ船橋千葉附近ニ被害ノ大ナルヲ習志野附近

ノ如キ兵營ハ窓障子ノ少シ破壊シタルニ過キザルヲ

見ル

四、横濱方面ノ情况

横濱之派遣シタル第七甲隊ハ目下引結キ騎兵第

十五聯隊長ノ指揮下ニカリテ警備ニ任シツシヤリ

步兵第五十七中隊及工兵第十四大隊ノ一甲隊ノ増

加ニ依リテ横濱市民ハ大ニ安堵シ漸時秩序

快復トツツウリ然レトモ糧食欠乏ノ為メ行為漸々  
餓鬼的ニ流レ東神奈川方面ニハ所々掠奪行為  
アリ

第七甲隊ハ強大ナル巡察ヲ以テ警備中ナリ尚横  
濱倉庫ハ甲隊ノ努力ニ依リ無事ナラレタルヲ得  
タリ

横濱全市ハ焼土ト化レ悲慘言語ニ絶レ其間社  
會主義者及不逞鮮人往行レ人心恟々タリ

昨日未有力ナル社會主義者ハ之ヲ檢閲シテ一々鮮人  
ノ取締リヲ嚴重ニシツアルニ依リ目下漸時秩序ヲ  
快復ニツツアリ之レカ為メ鮮人中虐殺セラルルモノ甚  
カラズ

0035



六警備地外トリ交通

横濱方面ニ対シテハ三軒茶屋ト溜ノ口ト千年ト

橋場ト大角橋ヲ經テ横濱ニ向ヒ自働車ヲ通ス

千葉方面ニ對シテハ千住大橋ヲ經テ自働車ヲ通

ス

市川ノ橋梁ハ損害ナク行徳ノ橋梁ハ破損ニシテ自働

車ヲ通セズ

0036

戒通第四號追加

九月五日夕ニ於ケル警戒備ハ状態

左記部隊ハ昨夜來新ニ回帰者々ハ赤羽ニ到着シ夫々既命  
ノ部署ニ就ケリ其位置概シテ左ノ如シ

一 第二師團派遣部隊

陸軍少將鈴木義雄ノ指揮スル部隊

歩兵第二十九聯隊 (一、二、三) 東京南部

歩兵第三十二聯隊 (一) 大隊

浦和熊谷及其附近ノ中山道沿線

歩兵第六十五聯隊 (三) 大隊

大正十一年九月五日

五共大隊(兵員約三〇〇)東京北部

衛生機關(兵員約一〇〇)明六日より使用

二第八師團派遣(兵員約一三〇)

本夜中に到着、豫定

三第十三師團派遣部隊の一部は本五日午後三時田端に下車

明六日午後十一時迄、魚り全部到着、豫定

四歩兵第四十九聯隊の主力(五中隊)は五日午前十時二十分

八玉子に達

約午後一時半迄、八全聯隊、後續部隊(三中隊)も亦到

著スル豫定

0038



九月五日 通報  
海軍省法務局

九月四日  
午後八時

龜戸於四名、兇漢、警官、抵抗、騎兵、十三聯隊之、刺殺、又、内、鮮人、區別、調、為、中

九月五日  
午前二時  
五分

龜戸警察署、檢束中、内地人及不逞、鮮人六名、警官、暴行、他、拘禁者、煽動、暴行、セ、ト、セ、故、同、聯隊、之、刺殺、セ、リ、彼等、ハ、最後、迄、革命、萬歳、ヲ、叫、ビ、居、タ、リ

九月五日  
西國橋附近、白土第二師團、經理部長、暴

漢、為、頭部及眼下部ヲ斬之重傷

0039

(知)

極秘

3 3 → 力井 D 只

A (A)

放火龍衣鼓手  
殺 人  
毒藥投井  
放火  
爆彈投下

如シ 海軍ニ於テ知得セル 鮮人 白幕動符号 田吉衣  
海軍省法務局

0040



海軍省 法務局

不逞解人より獲る暴行用約束符号

左ノ符号ハ豫備騎兵大尉尖戸切男氏カ自宅附近ノ警備中捕獲セル解人より押収セルモノニテ不逞解人ヨリ暴行ノ爲メ暗号トシテ配布シ一名ノ指導者カ電柱軒下ニ等ニ三等ノ符号ヲ記シ結行スル同類ニ暴行ノ種類ヲ指定セルモノナリ

又 爆彈ヲ投セル

↑ 毒薬ヲ投セル

0041



放火せよ



放火せよ

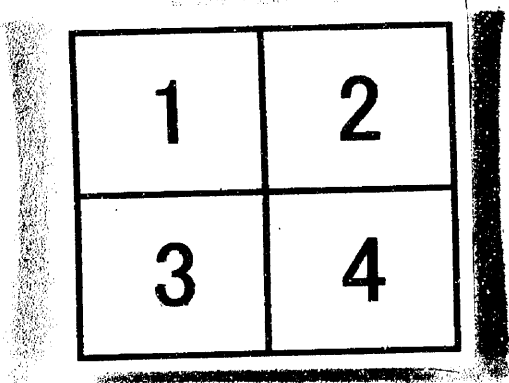
0042

秘

九月五日午後六時頃中徳谷遠藤屋ニテ六七才  
男来リ鮮ク暗号ヲ教フヘシトテ( )ニ燐木ヲ  
置キシハ放火ヨリトコト井ハ井戸ハ毒薬ヲ投セヨ  
ト暗号ナリト云ヒテ去リタルヲ以テ前ノ電  
柱ヲ檢メタル處白ペンキ塗ノ個所ニ鉛筆ヲ  
以テ( )ノ記号ナルヲ筆見ニ午後一時渋谷  
憲兵分隊ニ届出タルヲ以テ調査中

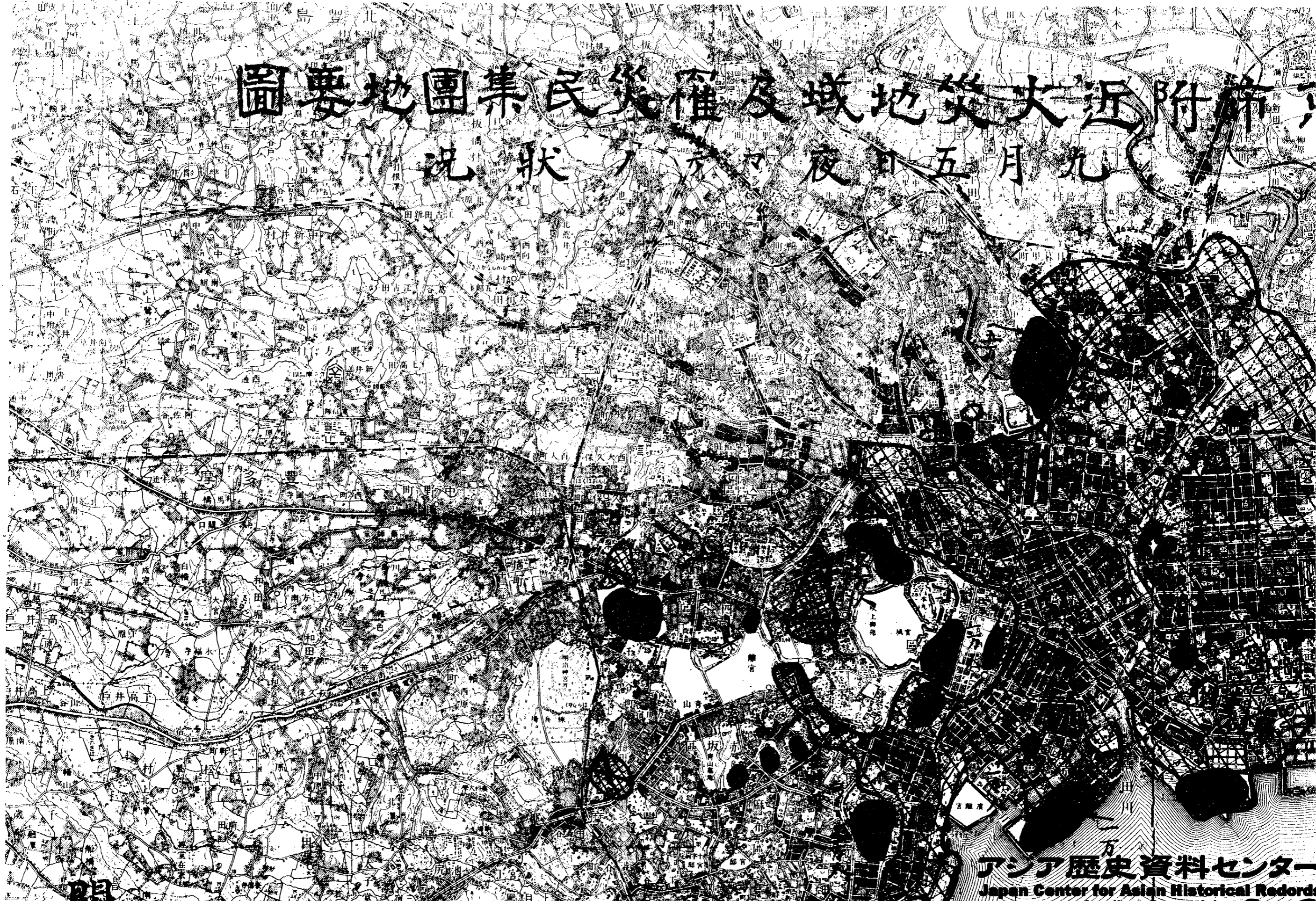
0043

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	 <p>A diagram showing a square divided into four quadrants by a horizontal and a vertical line. The top-left quadrant is labeled '1', the top-right is '2', the bottom-left is '3', and the bottom-right is '4'. The diagram is centered within the cell.</p>
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



0044  
0045  
0046  
0047





# 東京府附近大震災地域及罹災民集居地 九月五日深夜の状況



二万人

供





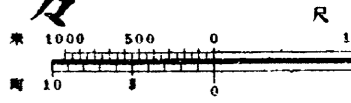
関東戒嚴司令

● 火災地域  
 ● 罹災民集団地

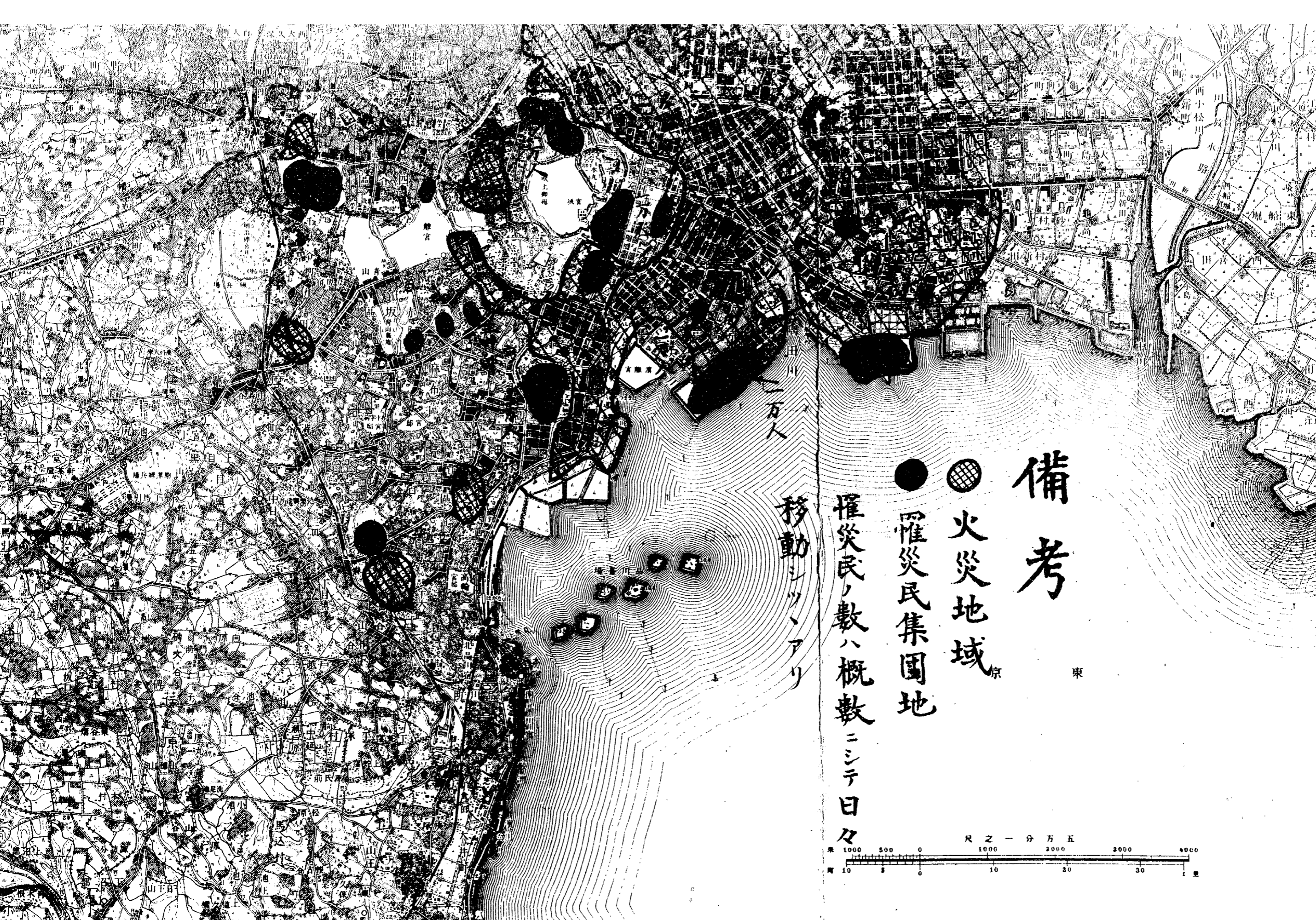
罹災民ノ數ハ概數ニシテ日々

移動シツクアリ

田川  
一万人







# 備考

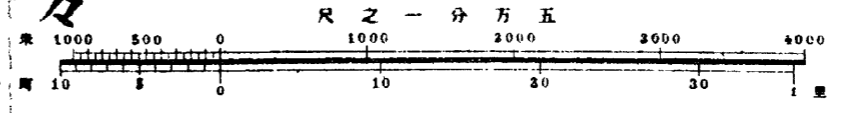
● 火災地域

● 罹災民集圀地

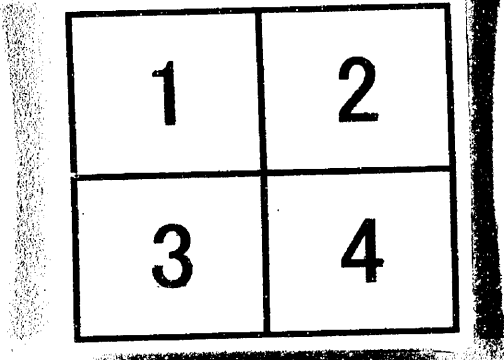
罹災民ノ數ハ概數ニシテ日々

移動シツヽアリ

一万人



# 分割撮影ターゲット

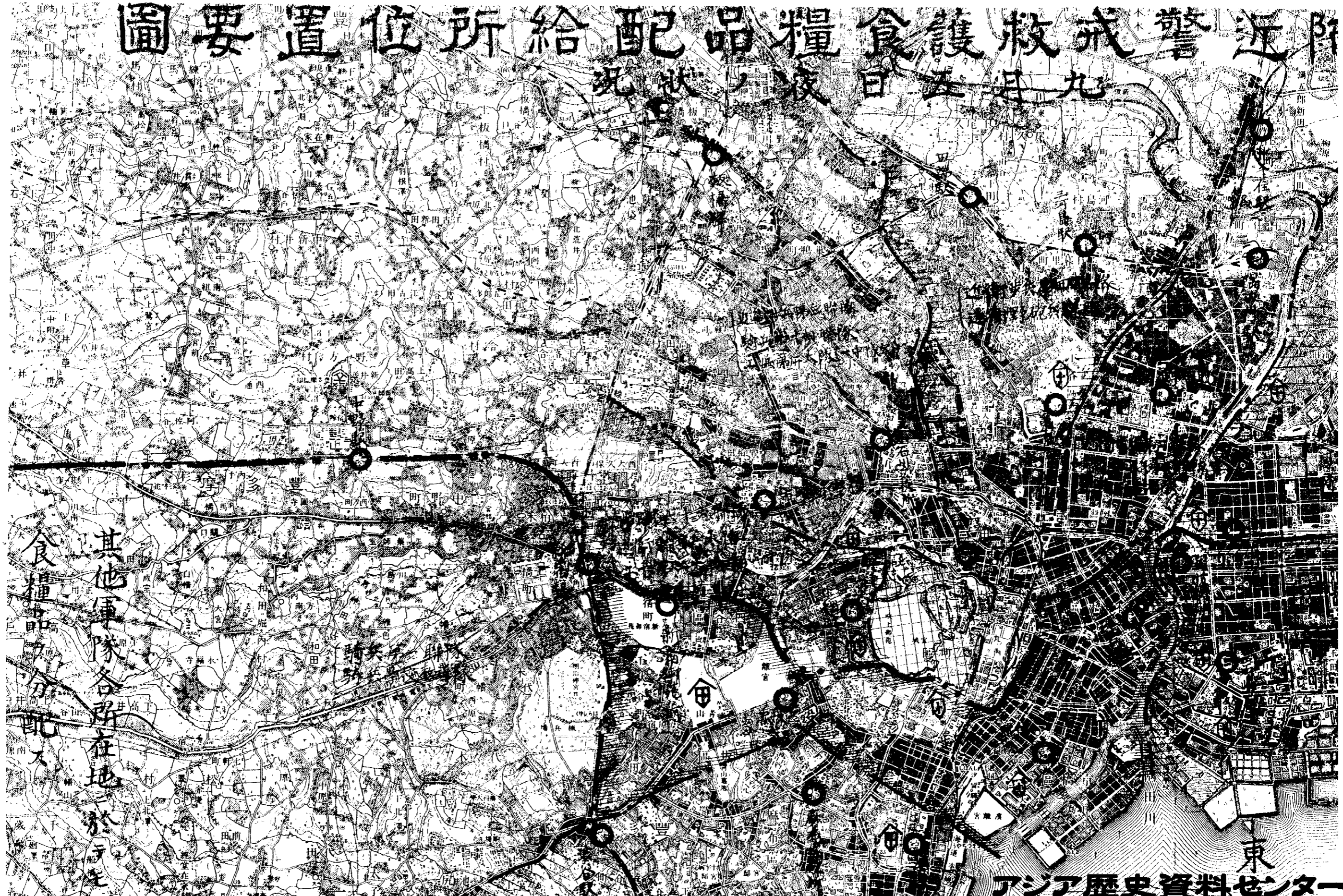
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



0048  
0049  
0050  
0051

# 陸軍警戒救護食糧品配給所位置要圖

九月五日 狀況



食糧  
其他  
軍隊  
各所  
在地  
救護  
所



# 東京市附近警戒救護食糧配品給所位置

九月五日 夜 狀況



東京北警備隊

東京





東京南敬言備管區

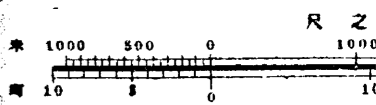
長 第一師團長石光中將

第一師團 (騎兵第十五聯隊 步兵第四十九團 第五十七聯隊 自動車隊)

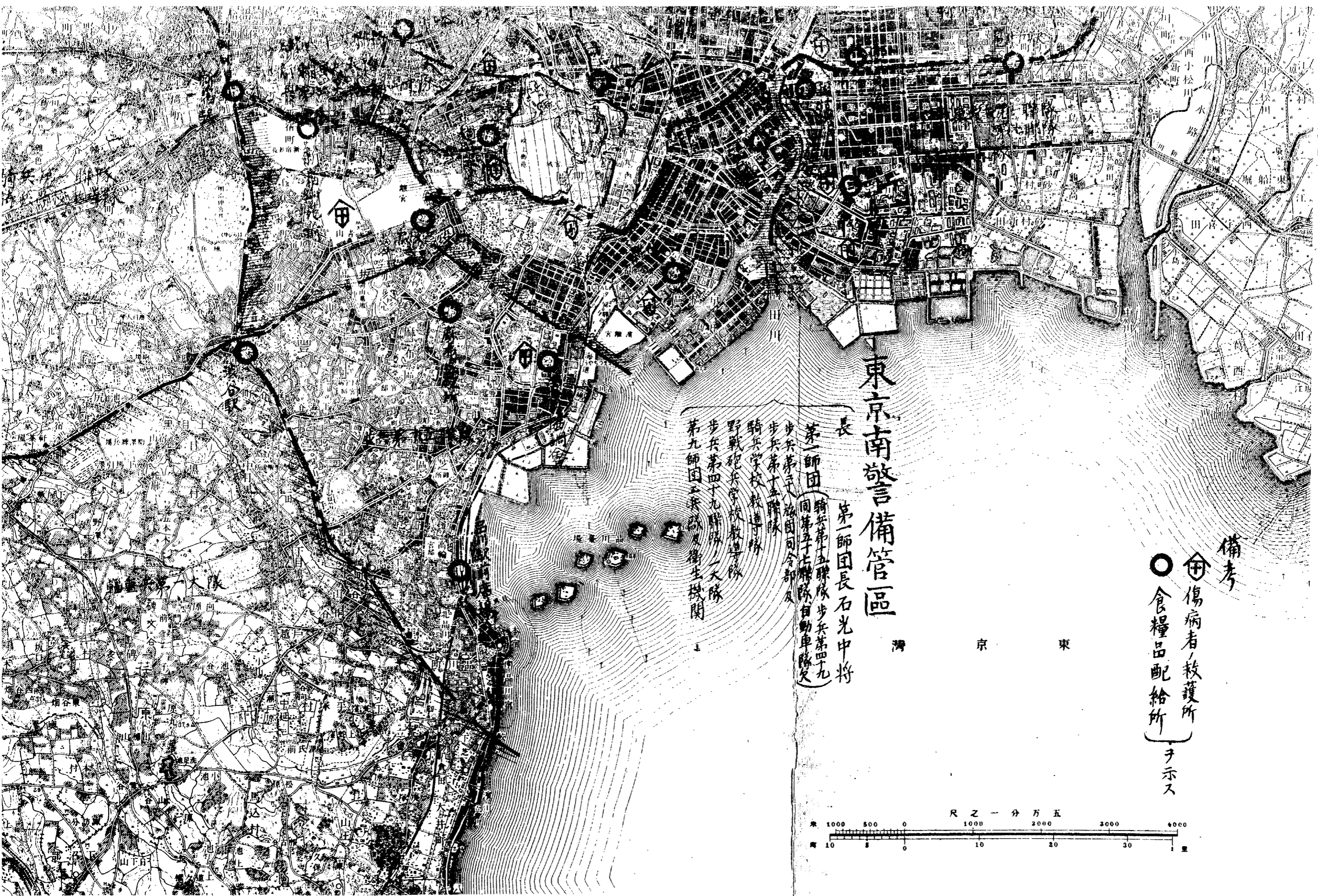
步兵第五十二聯隊 砲兵隊 騎兵學校教導隊

野戰砲兵學校教導隊

步兵第四十九聯隊 一大隊 第九師團 工兵隊 衛生機關







# 東京南警備管区

長 第一師団長石光中将

第一師団 (騎兵第十五聯隊 歩兵第四十九

歩兵第五十一聯隊 同第七十七聯隊 自動車隊)

騎兵學校教導隊

野戰砲兵學校教導隊

第九師団 工兵隊及衛生機關

備考

傷病者/救護所

食糧品配給所

ヲ示ス

五 万 分 一 之 尺

